

令和6年度 磐田市スポーツ推進審議会 会議録

【日時】 令和6年10月21日（月） 午後2時～午後3時20分

【会場】 磐田市役所西庁舎302・303会議室

【出席者】 11名

【欠席者】 2名

【事務局】 5名

- 1 開会
- 2 委員及び事務局自己紹介
- 3 会長挨拶
- 4 協議事項
 - (1) 磐田市スポーツ推進計画（中間見直し）について
 - (2) 磐田市市民スポーツ意識調査（案）について
 - (3) 磐田市スポーツ施設再編整備について事務局から協議事項について説明。その後、意見交換。発言の概要は以下のとおり。

事務局

資料「磐田市スポーツ推進計画（中間見直し）-概要版-」
「磐田市市民スポーツ意識調査」に沿って説明

委員

例えば問10の「あなたが、スポーツ・運動を週1回以上していない（できない）理由は何ですか。」に対して複数選択になっていますが、複数選択することによって一番の原因がぼやけてしまうことになってしまうと考えられます。おそらく一番の理由は時間がないということになるでしょうが、できない理由が明確になるとより市民のみなさんのニーズに応えることができ、重点的に対応できるようになるのではないのでしょうか。

事務局

質問項目を大幅に変えてしまうと前回との比較ができなくなるので、ある程度反映させながら作成しているというところがあります。

先ほどの御意見は非常に参考になる視点だと思いましたので、反映できるように考えていきたいと思います。

委員

問18の比較的軽いスポーツ・運動の選択肢の中にレクリエーションスポーツという言葉が出てきます。問30ではユニバーサルスポーツという言葉が出てきます。定義としてどう違うのでしょうか。私自身はユニバーサルスポーツという言葉を使うようにしています。

事務局

レクリエーションスポーツとユニバーサルスポーツの定義の違いについては、どうなんだろうというところがありますので、他市町の事例も参考にしながら作成していきます。

ユニバーサルスポーツの定義も、年齢とか国籍障害にかかわらず、みんなが一緒に楽しむことができるスポーツとインターネットでは定義されていたので、どう表記していくかは考えていきます。

副委員長

【2】スポーツ・体育施設については、施設の充実度について質問しています。質問項目にはないのですが、夏場は暑くて空調のない施設を使うことができない、使わないという選択をする方が増えています。空調に関する項目を設けてもよいのかと思います。

事務局

施設の維持・整備に関する質問の選択肢の中に季節を問わず使える施設というような項目を増やしたいと思います。

委員長

磐田市内体育施設の空調に関する進捗状況を教えてください。

事務局

空調問題、今年の夏には多くの御意見を頂きました。暑過ぎて体育館で活動できないというような市民からの声も入っております。この夏に、今ある体育館の中で空調を入れるとどんなふうになるのかなってということで、実証をしました。風がどのように影響するか。卓球とかバドミントンなどの競技に影響がないのかってということも含めて検証をしました。多少なり影響はあっても、暑さ対策を行っていくのが優先なのかと思っております。市としてはできる限り対応していきたいと思っております。ただ全部の施設は財政的に無理ですので、できるところからやっていきたいという考えでございまして、予算要求の交渉等も進めていきたいと思っております。御理解を頂ければと思います。

委員長

磐田市総合体育館は私共で管理をしているのですが、空調のあるアミューズ豊田に移った使用団体さんもいます。学校の体育授業の様子を教えてください。

委員

部活動ですが、熱中症指数が上がると部活停止となります。夏休みには、登校して8時を過ぎたぐらいで活動をやめて校舎内で宿題に取り組むようなこともありました。

委員

小学校でも指数によって昼休みに外で遊ぶことができない日が多くあります。地下水を使っている学校の水は冷たいのですが、プールの水温も上がってしまい入ることができないこともありました。9月から10月までは外で元気に遊びなさいとは言いにくいのが現状です。

委員

意識調査の対象が18歳以上の市民3,000名となっていますが、障がいのある方にも発送はするのでしょうか。

事務局

障害のあるなしや国籍等問わずに3,000名無作為に抽出します。

委員

問19の中で障がい者スポーツ・運動の例がボッチャと書いてありますが、ある程度具体的に書いておいたほうが、やってみたいと思う方も増えるのではないかと思います。

副委員長

障がい者のスポーツというものは、多くはほとんどのスポーツが当てはまります。野球だってバスケットボールだって、身体や知的、情緒に障がいがある方も取り組んでいます。障がい者スポーツの例としてボッチャがあげられていますが、パラリンピックの種目というだけです。ユニバーサルスポーツという視点でいえば小さい子から高齢者まで楽しんで取り組んでいるわけですので、障がい者スポーツというものをどう定義するかが難しいと考えます。

委員

疑問に思ったことがあります。一つ目がスポーツ振興とスポーツ推進の違いについてです。振興と推進という言葉が混在している印象を受けました。また、項目の整理についても「する」「見る」「支える」という項目で整理すると分かりやすいと感じました。もう一度このアンケート調査の意図について、教えていただきたいなと思いました。

事務局

本調査においてはスポーツを推し進めたいという気持ちでつくっている、推進の言葉の意味合いかなと思います。ご指摘いただいた点について答える側に立って質問順等を検討させていただきたいと思います。

委員

問34磐田市は、健康で魅力的な人づくりと、地域交流が盛んなまちづくりを目指し、スポーツ交流宣言をしているとあるのですが、磐田市民生涯健康宣言というようなものがあるとよいと感じた。本調査の一番のねらいは磐田市民が生涯健康でいられるようにするためといった、テーマ付けのようなものがあってもいいのかなと。

委員

問10の週1回以上していない理由に関しては、8から11までの人はスポーツ嫌いの部類かなって自分で思っています。その人たちの意識を高めるといのはなかなか難しいと思います。ただ、そういう人にはeスポーツというものがありますよね。そういったものもスポーツとして捉えていけば、実施率は60%以上いくと思います。私は、絶対達成していると思いますので、もう目的は果たせると思います。

委員長

スポーツの分野というか私たちの時代からどんどん広がっていて、オリンピックに出ずにプロの世界で活躍するような選択もあります。そういう意味で、磐田市もスポーツを幅広く捉えていく必要があると思います。

委員

先ほどの障がい者スポーツをインターネットで調べると、ボッチャは障がい者スポーツではないみたいです。定義付けされているので、その定義に基づいて調査していけばよいと思います。

最後の自由記述欄については、ストレートに必要なものを訪ねてもよいと考えます。必要なものが施設なのか、人材なのか。

委員

私はラグビーの普及活動を通してラグビーやチームの魅力を知ってもらおう活動はしていますが、市民のみなさんが本当に何をプロスポーツクラブや団体に求めているのか分からないところがあります。自分たちのしていることが本当に市民のみなさんにとって求められていることなのか、読み取ることができるような調査になるとありがたいと考えます。

委員長

それでは時間の関係もありますので、(3)の磐田市スポーツ施設再編整備について、当事務から、御説明していただけますか。

事務局

市スポーツ施設再編整備についてというところで説明のほうさせていただきたいと思います。8月2日の報道で見た方もいらっしゃるかもしれませんが、新総合運動公園整備の検討という記事が出まして、簡単にこの場を借りて説明をさせてもらえたらと思っております。このきっかけが8月の市長定例記者会見です。

市内に点在するスポーツ施設の機能を集約した新たなスポーツ公園も視野に入れてゼロベースで施設の再編を行っていくというような方針を示されました。ゼロベースで検討をするということに至った経緯ですが、本市が所管するスポーツ施設は、公園内に複数のスポーツ施設が集約しているもののほか、点在している施設も多くあり、どちらの施設も建設後30年以上も経過した施設が約半数を占めております。中長期的に考えて維持管理費が膨らんでいくことが予想されています。このため、本市が所有する全てのスポーツ施設を対象に、状況評価に加え、利用状況や駐車場、空調整備など施設の状況を把握する中で、施設機能の集約など、30年後50年後に本市にどのような施設が必要なのか検討していきたいという考えから発信した経緯となります。

委員長

スポーツ施設の再編整備について、市長のほうからいろんなお話があったように議会でもそれに関する質問等も出ていたようでございますが、これについて何かみなさんから特に御意見とか御質問とかございますでしょうか。

委員

先日浜名湖ガーデンパークに行ってきたのですが、ものすごく広くてびっくりしました。磐田で市民が集えるところはどこか。象徴的なものがあるといいなと思います。市民の憩いの場となるような。若い親子が遊べる場所であり、スポーツができる場所であるのが理想です。

委員長

ヤマハスタジアムもずいぶん時間がたっていますが、ヤマハスタジアムについてはみなさんどうお考えですか。

委員

ラグビーのリーグワンは寒い時期に開催されています。冬の雨というのは競技者はもちろん、観客にとってもかなり大変な思いをされていると思うので、個人的には屋根がついてほしいなと思っています。

委員

Jリーグに加盟するにあたってはライセンスの取得が必要になります。Jリーグの基準によると屋根については一定の条件さえ満たしていれば全面になくてもよいとされています。

委員

磐田でスポーツを考えるときには、静岡産業大学のスポーツ科学部の存在を忘れてははいけないと思います。

委員

ジュビロ磐田さんや静岡ブルーレヴズさんを始め、学生が職場体験等させていただいています。大学の中だけで学んでいるよりも何倍も実学的な効果があり、学生の成長を目の当たりにしているところです。ただ、実際に様々なところでスポーツに関連する人材が不足していると聞いています。先ほど施設の再整備の話が出ましたが、静岡産業大学の周辺は運動施設になるといいなと思うくらいに土地が広がっています。そういった意味でも、一つの拠点として考えていただけたら、我々の強みであるいろんなスポーツに関連する専門的な人材をその場で提供できるということがより生かされるかと思います。

委員長

せっかくの機会ですので、委員のみなさんお一人ずつご発言をお願いできたらと思います。

委員

スポーツ推進委員としてやってますと、講師派遣事業というんですかね、出前講座の申込がいろんなところからきています。小学校中学校では最近モルックの希望が多いです。また、障がい者スポーツについて総合的な学習の時間の中で、扱ってほしいという要望も出ています。生徒、子供たちにとってはいい体験になるみたいで、こういう楽しみ方のスポーツがあるんだなっていうのを経験してもらっています。それから高齢者にスポーツ

の機会を提供をしていますが、とても市民の方々が興味を持っていただいております。求めるものは程度の差はたくさんありますけれど、必要とされるものを状況に応じて提供できればというふうに思っております。

委員

今小学校6年生が最後の夏は、もう中学校の名前ではなくて近隣の学校さんと一緒に組むようになり、中学校からだんだん部活動が地域に移行していきます。今は、授業が終わるとすぐにそのまま学校で次の部活動に入ります。100%ではありませんが、高い割合で部活動に取り組んでいます。今後は部活に取り組む生徒が減るのではないのでしょうか。

委員

まず、スポーツ施設の再編という非常に興味深いところでやはり学校のプール問題です。屋根がなかったり管理の仕方だったり課題がありますので、施設再編の中に学校のプールについても検討いただけたらありがたいです。また、地域と密着した活動の中で、社会福祉協議会の方とお話しすると、やはり御高齢の方が家から出ないという話を聞きます。その中で地域のサロンに1人でも小学生が来ると高齢の方が参加したがり関わりするそうです。子供や高齢者というくくりだけでなく、つなぎ合わせていくとパワーもつながるのではないかと最近思っているところです。

委員

障がいのある方へのスポーツ推進という点では磐田市でツインバスケットの大会が行われています。私も観に行ったのですが、障がいのある方は数名程度でほとんどいませんでした。市民の方への広報をお願いしたいと思います。

委員

観光と絡めた話をすると、オートバイの好きな方が渚の交流館に6時ぐらいに集合して、そこの海岸をきれいにし、そして次の中継点行くとか、そんな試みを1回2回ぐらいしています。そういうモータースポーツという切り口もヤマハ発動機の本社がある磐田市ならではのだと思います。

委員

スポーツを通じて、継続できる活動とか運動、そういうものを自治会の中に植付けていくということが大事かなと思っています。それは自治会だけではできませんので、行政、あるいはスポーツ協会とが一緒になって考える必要があります。何かをやろうとしても若者の参加がやはり少ないんでね。音楽で人を集める。あるいは芸術で人を集める、あるいはスポーツで人を集めるというコミュニティづくりを進めることができるといいなと思います。

委員

静岡県は学校の空調の設備の普及率は全国でも有数の低さと聞いたことがあります。特にエアコンがついてる学校の割合が、全国の中でも有数に低いらしいです。また、トイレの洋式化も検討してもらいたいと思っております。

委員

やはり体育館に空調はないといけないと考えます。夏場は使用できません。また、地震等の災害時に避難場所として機能させなければなりません。予算の確保ができ空調付きの体育館ができるとスポーツ実施率の向上にもつながるのではないのでしょうか。

委員

12月21日にヤマハスタジアムでリーグワンが開幕します。ご招待含めて市民の多くの方にスポーツを観戦していただきたいと思っています。また、試合会場では多くのボランティアの方に御協力いただいています。そうしたスポーツを支えるという機会にもなると思いますので、今後もより一層スポーツを見る、支える機会を増やしていきたいと考えています。もう一つは育成普及という点についてですが、ラグビーの普及や子供たちの育成みたいなのところの仕事もしていますが、ラグビーは本当に今教育人口が減ってきていて、特に小学校、ないしは、高校のところはかなり減ってきています。小学生のお子さんをもつ保護者の方は危ないというイメージがまだまだあるのが現状です。そのハードルを下げるような形でもっと気軽にラグビーっていうのに触れ合っただけのような機会を、今後、磐田市さん含めて企画計画していければなと思っています。今、ブルーレヴズには静岡県内の出身の選手がいません。やはり近い将来、磐田市出身のブルーレヴズの選手を生み出していくっていうところもクラブの役割かなと思いますので、頑張っていきたいです。

委員

Jリーグは2026年から秋春制に移行となります。小学生一斉観戦事業などで影響が出てくると予想されますので、調整を図ってなんとか継続できるように、とにかく子どもたちとの関りは強くもっていきたいと思います。ジュビロ磐田は障がい者のチームももっています。鹿児島などいくつかのJリーグチームはそういった障がいのある方のチームももっていてヤマハスタジアムで試合をするなど活発に活動していますので、御承知おきください。

委員長

自分なりに議長を務めさせていただき、スポーツプラットフォームみたいな感じに最後はなったかなというふうに思えました。本日の協議内容は以上で終了したいと思います。貴重な御意見を本当にありがとうございました。

事務局

長時間にわたりまして御協議を頂きありがとうございました。スポーツを取り巻く環境は大きく変化してきております。気象問題を含め、その他先ほど話題になりましたモータースポーツやeスポーツも話題になっております。スポーツには大きな力があると思っておりますので、そのスポーツの力を生かしたまちづくりを行っていきます。今後もみなさまの御支援頂きたいと思っております。本日はありがとうございました。